



かがやく浜の子

平成30年3月5日

『感謝の気持ちを行動に表す』

今年は例年になく、春間近の嵐が全国に吹き荒れています。暴風並の白羽の風の中、子どもたちは元気に集団登校をしています。当たり前の風景ですが、元気に登校する子どもたちと、朝早くから仲間と共に歩いて登校できるように送り出してくださっている御家庭の皆様には心から感謝したいと思います。

3月1日(木)に『6年生を送る会』を行いました。毎年5年生を中心に全学年が6年生への感謝の気持ちを表す児童会行事として行っています。本年度は、重点目標『気づき 考え 行動する子 自分から みんなと』に向かい、3年間全校で取り組んできた『輝きカード』(友だちのよさを見つけて伝え合う活動)を活かし、5年生が中心になって6年生の一人一人のよさを書いたかるたとして作成した「輝きかるた」をみんなで行いました。かるた取りだけでなく、一枚読み札を読んでかるた取りをし、読み札に記された6年生の輝きを紹介して、みんなで拍手をしました。55人全員分の輝きを紹介された6年生も、聞いている下級生も笑顔があふれ、素敵な6年生を送る会になりました。また、主体性を育むために『学校はみんなで作る』についても力を入れてきました。会の終わりには、それぞれの学年が6年生を送る会をつくるために仕事を分担して一生懸命取り組んだことを5年生がしっかりと価値付けをしてくれました。私は、この子どもたちの姿から、子どもたちの学校への夢である『なかよくたのしいみんなの白羽小』に確実に近づいていると実感しました。

今年の6年生は、学校の夢を描き、あいさつを自慢にするために「あいさつ委員会」をつくり、縦割り活動を定着させ、感謝の気持ちを行動で表す工夫をしてきました。子どもたちの主体性を引き出すためには、子どもたちの力を信じてその力を発揮させる仕掛けが必要です。『輝きカード』も「感謝の気持ちを表す活動」も教師の仕掛けです。その仕掛けをどのように行うかが重要です。子どもたちは教師の仕掛けにしっかりととり、力を発揮してくれました。だからこそ、6年生を送る会の笑顔の姿として、またこの頃の朝のあいさつの姿として、表れているのだと考えます。来年度は、あいさつ委員会は『あさしおごはん委員会』となります。5年生が話し合い、25年間続いてきた『あさしおごはん』をしっかりと身につけて、



【笑顔いっぱいの6年生を送る会】

白羽小の伝統にしたいという強い願いから委員会名をかえることになりました。白羽小を卒業しても「あさしおごはん」ができる人に育ってほしい、そして、「あさしおごはん」ができる大人に成長してほしいと心から願っています。(校長 増田久美子)



